

# 2013 IFAC専務理事 戦略フォーラム (Chief Executives' Strategic Forum)

2013年2月25日及び26日の2日間にわたりニューヨークの国際会計士連盟(IFAC)において、IFAC加盟各団体の専務理事による戦略フォーラムが開催された。会計士協会の専務理事等約60名が参加し、IFACを取り巻く課題について活発な議論が行われた。以下に、主な内容を報告する。

## 1 IFAC定款・付属定款のレビュー

### (1) 定款レビューの今後のスケジュール案

定款レビューに関する今後のスケジュール案として、以下が示された。

2013年3月	コンサルテーション・ペーパーをアンケート調査形式で公表
2013年8月	定款・付属定款の変更の公開草案を公表
2013年11月	総会で公開草案の結果を検討
2014年第1四半期	臨時総会を開催

IFACの定款変更は、定足数が委任状込みで50%超あり、3分の2以上の賛成が必要であることから、スケジュール案では、臨時総会の開催

が検討されている。

また、本スケジュール案に加えて、定款レビューの範囲が適切か否か、公益監視委員会(PIOB)やモニタリング・グループ(MG)等の関係者との協議などについても意見交換が行われた。

### (2) 会員資格の構成

会員資格に関して、会員資格の分類、入会基準、投票権等の権利等について議論がなされた。

会員資格の分類区分を新たに設けるにあたっては、第一に、資本市場における会計専門家団体の重要性及び有効性を認識する必要があるが、一方で、会計専門家の中で提供するサービスが異なることを理解する必要があること、第二に、IFAC加盟団体が遵守すべき義務に関するステートメント(SMO)への準拠を促進している一方で、各国・各地域の規制等のためにSMOの要求事項が準拠できないことが恒常的になっている会計専門家団体もあることを認識する必要があること、第三に、IFACは国際的な組織であることから、できるだけ多くの会計専門家団体を含むべきと考えていること等の説明が

あった。さらに、SMOの準拠レベル、提供するサービスの種類、資金提供等によって、以下のオプション(要約)が提示され、検討された。

#### オプションA(現状維持)

- Member: 入会規準を満たしている。
- Associate: 入会規準を満たすように努力している。
- Affiliate: 会計専門家団体の発展という目的を有している。

#### オプションB

現状に加え、より強化した入会規準を設ける(例えば、SMOの遵守に最低限の条件を設定する)。

#### オプションC

##### C.1

IFAC理事会の議席割当を変更し、より資金提供の大きい団体に多くの議席を割り当てる。

##### C.2

資金提供のレベルに応じて投票権の強さを変える。

##### C.3

IFAC総会(Council)と理事会(Board)の入退会の権限・役割を変える。

#### オプションD

##### D.1

SMOが遵守できない団体には、現行のカテゴリーとは異なるカテゴリーを与え、権利付与のレベルを変更する。

##### D.2

加盟団体の構造、その会員の提供するサービスの種類、加盟団体のミッション等で分ける。

説明に対して、各団体のCEOからは、以下のような意見が述べられた。

- 現状の会員資格の分類でどのような問題があるのかを明確にすべき。
- 会員分類は、可能な限りシンプルであるべき。
- 定款レビューは、IFACの戦略レビューの後に検討すべき。

- SMOの準拠レベルに応じた分類は複雑になるのではないか。
- Professional Accountantの定義を明確にすべき。
- できる限り多くの団体を含めるべきとの意見は誤りではないか。
- 資本市場や各国・各地域に与える影響を調査すべきではないか。

か。

- 資金提供のレベルに応じた投票権の差には賛成する。

### (3) IFACのガバナンス構造

#### ① 総会 (Council) と理事会 (Board) の役割

現状のIFAC総会と理事会の役割としては、入退会の権限をいずれも総会が有するが、理事会が入会許可権限、総会が除名権限を有することに変更すべきかどうか、現行の投票及び委任状のプロセスは適切かなどについて、現状の定款上における役割を参照しながら議論された。

各団体のCEOからは、以下のような意見が述べられた。

- まず、総会と理事会の役割を明確にした後に、会員資格の分類を明確化すべき。
- IFAC加盟100団体以上が理事会メンバーに就任できないことは問題ではないか。
- 一方で、途上国などではIFAC Boardを代表することは難しいのではないか。
- 理事会メンバーの選考プロセスや独立性の担保の方法は適切か。
- 開催頻度は適切か。

#### ② IFAC会長、副会長、CEOの役割及び責任

現状のIFAC正副会長の任期は、2年間の副会長の任期後、2年間、会長を務めることになっており、合計4年間に及んでいることから、就任できる者が限られるのではないかという懸念が説明された。一方で、IFACを取り巻く多様な関係者との関係構築には、2年間の副会長とい

### 〈図表〉

- 会長は、以下の事項を行うことができる。
  - 以下を監視する
    - － 組織のビジョン、ミッション、全体的な方向性の開発及び実施
    - － 戦略計画、運営計画、予算の開発及び実施
    - － CEO引継計画
  - Boardの活動をリードする。Board memberの業績評価。Board meetingの監視も含まれる
  - Boardと相談し、Boardの活動を支援するBoard subcommitteeを設置する
  - 以下を評価する
    - － CEOの活動
    - － 組織の成功度
  - 以下とリエゾンを行う
    - － 審議会及び委員会議長
    - － FOF memberを含む、主要な利害関係者
  - スポークスマンとなり、組織を主導する
  - その他
- 例えば、副会長は、会長のこれらの業務を支援する。副会長は会長が一時的にその責任を果たし得ないとき、対応できる。副会長はスポークスマンとなり、組織を主導できる。そしてBoard subcommittee議長等の特別なプロジェクトを引き受けることができる。
- 例えば、CEOは、以下の事項を行うことができる。
  - 以下をリードする
    - － 組織のビジョン、ミッション、全体的な方向性の開発及び実施、並びにBoardへの報告
    - － 戦略計画、運営計画、予算の開発及び実施、並びにBoardへの報告
    - － 戦略計画で定められた方向性に準拠した組織の運営の完了
  - エグゼクティブ・ディレクターのリード、ガイド、指示、及び評価
  - 特別な事項 (ad hoc issues) に対応するのに必要と考えられるadvisory groupを設置する
  - 組織の成功度 (財務の安定性及びサービス提供の両方) を評価し、Boardに報告する
  - 環境の変化を識別し、組織への影響を見極め、Boardに報告する
  - 必要に応じて、Boardからアドバイスやガイダンスを求める
  - FOF memberを含む主要な利害関係者との関係を構築し、維持し、報告する
  - スポークスマンとして活動し、組織を主導する (advocate)

う任期が必要であるとの意見もあることが紹介された。その後、会長及び副会長の任期を1年に短縮すること、また、任期を短縮する際に同時に副会長を2人とする可能性について検討された（副会長2期と会長1期の計3年になる）。

また、現状の定款上の会長、副会長、CEOの役割と責任に関する記述は少ないため、図表のように定款を変更することについて議論がされた。なお、現状の定款では図表内の下線のみを規定している。

らの課題が、IFACの目的、使命、活動にどのような影響を与えるのか、どのようにあるべきかを検討した。今後、より一層、IFACは、会計専門家に関することはもちろん、基準設定や規制などを含め、公共の利益に資する問題について主張すべきであるなどの発言があった。

（事務局 石井和敏）

## 2 2013年－2016年の戦略レビュー

### (1) IFAC事務局による現状説明

IFAC事務局より、第一に、IFAC活動報告、2014年度の人的／財務資源の分配と活動予定、予算（外部財源・会費を含む）などについて説明があった。

次に、2012年のグローバル・リーダーシップ・サーベイの結果として、IFACの果たすべき役割は多様であり、調査結果でも期待する役割に偏りはないが、実際は、基準設定に多くの資源を割いていること、また、先進国ではより基準設定に関心があるものの、途上国ではむしろ各会計専門家団体向けの指針などに興味がある旨等の報告があった。最後に、2012年のSMP Quick Poll（SMP向けのアンケート）の結果報告があった。

### (2) 2020年のIFAC

会計専門家にとって、世界的又は各国・各地域の2020年に向けての傾向と考えられる課題、さらに、それ